

# 関東大震災による土砂災害を語る会

## 第3回 シンポジウムと現地見学会

### 関東大震災による横須賀・浦賀地区の土砂災害

発起人：井上 公夫（一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構）

相原 延光（関東学院中学校高等学校）

茅野 光廣（テクノエンジニアリング株）

蟹江 康光・蟹江 由紀（ジオ神奈川）

後援：神奈川地学会

実施日 2015年10月24日（土）：JR横須賀駅9時30分集合（小雨決行）

現地見学会Ⅰ：①横須賀駅 930→②横須賀港 930～935→③横須賀関東地震慰霊塔 945～955  
→④崩壊跡地 1005～1015→⑤総合福祉会館 1025：その間の地形・慰霊碑を見学

シンポジウム（横須賀市総合福祉会館 10時40分～12時10分）、～昼食 12時40分

1 井上 公夫（関東地震とその後の豪雨による土砂災害の紹介）

2 相原 延光（三浦半島周辺の「びやく」の事例紹介）

3 蟹江 康光（横須賀・浦賀地区の地形・地質と関東地震による土砂災害）

現地見学会Ⅱ：12時40分～16時30分：浦賀地区の地形・慰霊碑を見学する（浦賀駅解散）。

⑤福祉会館 1250→⑥汐入駅 1305→⑦浦賀駅 1322→⑧東浦賀 1350→⑨西浦賀 1400

→⑩蛇畑 1410→⑪愛宕山公園 1430～1510→⑫浦賀港引揚記念碑 1520～1530

→⑬西叶神社 1540～1550→⑭浦賀郷土資料館（希望者のみ）1600～1630

→⑮浦賀駅解散 1620（西叶神社から浦賀駅までのバスもあります）



## シンポジウム・現地見学会の目的

大正12年(1923)9月1日に発生した関東地震によって、神奈川県・東京府・千葉県名で激甚な被害が発生しました。関東大震災では地震による建物の倒壊と延焼によって、10.5万人もの死者・行方不明者となりました。井上(2013)『関東大震災と土砂災害』によれば、土砂災害のみでも167箇所1056人以上の死者・行方不明者を出しましたが、そのことはあまり知られていません。

関東大震災による土砂災害を語る会では、関東大震災の現地見学会を開催しました。第1回は2013年9月21日に横浜市(プールの逃避行ルートを歩く)で、第2回は2014年9月27日に秦野市(震生湖周辺を歩く)で開催し、40名前後の参加者で色々な議論をしながら歩きました。

神奈川県の三浦半島の横須賀市、三浦市、逗子市、葉山町でも、多くの土砂災害が発生し、220名以上の死者が出ています。このような土砂災害は、三浦半島の地形・地質条件を素因として発生しました。102年前と比較すると、さらに人口は増加しており、今後の大規模地震によって、土砂災害が多発する可能性があります。このため、横須賀市街地と浦賀地区の関東地震による土砂災害地点を歩くことにより、地形・地質条件を把握し、今後の防災対策検討の一助としたいと思います。

**参加希望者は、井上(k-inoue@sff.or.jp)、相原(rsh18403@nifty.com)まで、氏名、性別、年齢、住所、電話番号(傷害保険をかけるため)をお知らせ下さい。少雨時でも現地見学会を行います。**

**参加費:1000円(会場費・傷害保険・資料代など)、電車賃・渡船代は自己負担**

**参加予定者:三浦半島の地形・地質と地震による土砂災害に関心のある方、及び横須賀市民(注意)昼食(おにぎりなど)・飲み物を持参して下さい(福祉会館館で昼食を頂きます)。服装・靴はハイキングに適したものとして下さい(少雨決行)。**

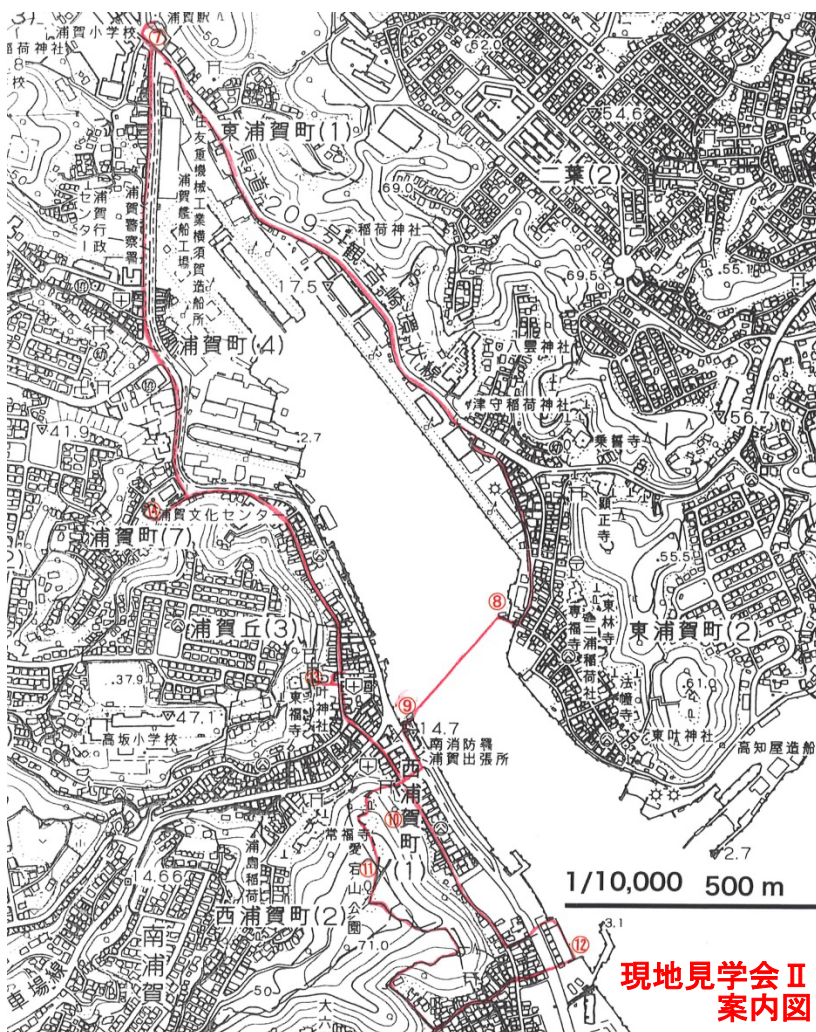


写真1 東浦賀と西浦賀を結ぶ渡船



写真2 西浦賀の関東大震災慰霊塔